

かんのんぎょうどくじゅかい

観音経 読誦会 へのお誘い



本尊：千手観音

毎月第二日曜日（毎年7月お休み）午前10時より
観音経読誦会を開催いたしております。

壇信徒の方々を中心に、様々な方々にご参加いた
だいております。参加当初は、お経を読まれたことの
ない方ばかりです。

どうぞお気軽にご参加ください。

台東区根岸 真言宗豊山派 千手院

◎観音経とは？

観音経とは、詳しくは「^{みょうほうれんげきょう}妙法蓮華経 ^{かんぜおんぼさつ}観世音菩薩 ^{ふもんぼん}普門品 第二十五」といい、^{ほけきょう}法華経として知られるお経の一章です。

お釈迦様は、^{ねほん}涅槃に入る前に、大勢の聴衆に法を説かれました。その中で、お釈迦様は、観音様の偉大な救済力についても、お説きになりました。

観音様のご^{りやく}利益は、無数の諸仏・諸菩薩を供養して得られるご利益にも匹敵する、とされます。

観音様の名を聞き、たたえ、^{らいはい}礼拝し、観音様を念ずれば、^{しちなん}七難（様々な災難）・^{さんどく}三毒（むさぼり・怒り・^{おろ}愚かさ）から救い、^{にぐ}二求（元気な男児・女児を生みたいという願い）を叶えていただけます。

また、観音様は、三十三身（日常出合う様々な人々）に姿を変えて、いつでもどこにいても救済してくださると説かれました。

観音経の教えは、実際に声に出して観音様を念じ、助けをいただき、感謝を捧げ、自分も誰かの観音様となり人々を救済すれば、その力は強大なものとなり、幸せな社会が訪れる、という教えです。

どうぞ皆さまも観音様の教えを、ご体現下さい。

◎観音経読誦会のあゆみ



昭和 27 年 6 月 29 日、当山 25 世 中 賢乗師の尽力の下、音羽護国寺より経本を頂き、観音経読誦会の第一回目が開催されました。最初の参加人数は壇徒の方のみで

12 名でした。

その後、昭和 27 年 9 月より毎月第二日曜日に開催されるようになりました。しかし、参加される方は数名で、出席者がおらず僧侶のみという月が続くこともありました。

それでも、賢乗師は観音様の慈悲心を分かち合いたいとの思いから活動を続け、昭和 28 年よりは近藤良空師、伊東快堂師の助力を頂き、徐々に参加人数が増え、安定して開催されるようになりました。

昭和 31 年 4 月には、観音経読誦会の方々と、音羽護国寺に参拝に出かけました。これをきっかけに、バスハイクが、観音経読誦会の毎年の行事となっています。

現在では、毎月 20 名程の方が参加され、当山の欠かせない活動となっています。

<内容>

本堂にて観音経（妙法蓮華経観世音菩薩普門品第二十五）・般若心経をお上げした後、軽食を食べながら談話する会です。観音経読誦会にご参加の方を中心に、年に一度のバスハイクも開催しております。

また、千手院主催の団体参拝旅行に参加されていらっしゃる方もいらっしゃいます。

<日時>

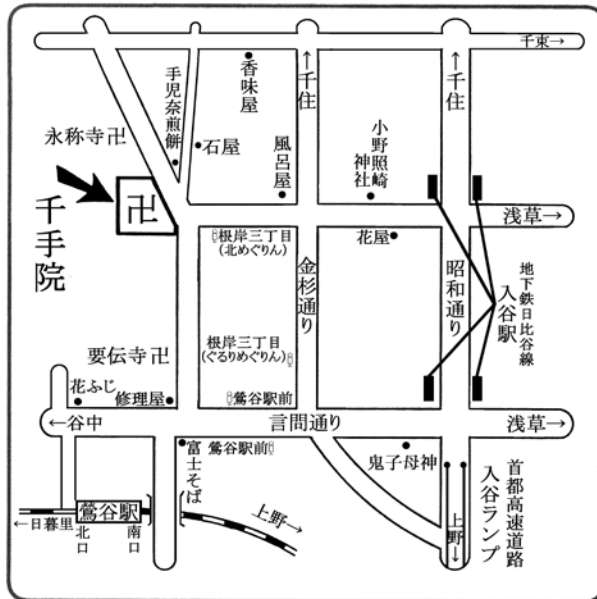
毎月第二日曜日（毎年7月お休み）午前10時～11時半
※時間までに、千手院玄関にお越しください。

<場所>

千手院本堂・客殿

<会費>

1回1000円(12月は2000円)



お問い合わせ先:千手院寺務所

東京都台東区根岸3-12-48 TEL03-3875-4794